

VI 事業報告

1 総括

大阪府内の学校給食の普及充実発展並びに教育及び文化の振興を図り、もって府民生活の向上及び健康保持増進に貢献するために、府内各市町村、大阪府教育委員会等と連携して諸事業を実施した。

国が掲げる第4次食育推進計画における重点事項を踏まえた食育事業を展開するとともに、市町村のニーズに沿った地場産物を活用した物資の供給に取り組んだ。

2 理事会・評議員会の開催

次のとおり理事会及び評議員会を開催して、事業計画・予算・決算等について審議をおこなった。

(1) 理事会の開催

回数	開催年月日及び場所	決議事項
1	令和5年6月7日 給食会 会議室	(1)「令和4年度事業報告及び財務諸表等の承認」について (2)「定時評議員会の日時及び場所並びに目的」について
2	令和6年3月13日 給食会 会議室	(1)「令和6年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込み」について (2)「役員賠償責任保険の加入」について (3)「公益財団法人大阪府学校給食会事務局就業規則」の改定について

(2) 評議員会の開催

回数	開催年月日及び場所	決議事項
1	令和5年6月26日 給食会 会議室	(1)「令和4年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認」について

3 学校給食支援事業

児童生徒の心身の健全な発達と望ましい食習慣を形成するうえで学校給食の重要性にかんがみ、安全・安心で良質な学校給食用物資の安定価格・安定供給に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより各種集合開催型の事業を再開した。

パン・炊飯指定工場については、食品衛生法の改正に伴う「HACCP(ハサップ)に沿った衛生管理」に必要な衛生管理計画・手順書・点検表作成の指導助言を行い、巡回調査時に、その内容の確認を行った。また、関係者に対し外部講師によるリスク管理研修を実施した。

地場産物を活用した物資の供給として、泉州地域で収穫された農産物(里芋・キャベツ・小松菜等)を冷凍食品(コロッケ・餃子・焼売・ミンチカツ等)の食材に使用し、複数の市町村に供給し、地域の活性化に努めた。

学校給食の普及充実・食育推進事業については、児童・生徒を対象としたコンテスト等食育推進を支援する事業に取り組むと共に栄養教諭のスキルアップを目的とした食育推進支援セミナー並びにデジタル化に対応した効果的な情報発信を行い、食育の推進に取り組むことができるスキル習得のためのICT講習会を実施した。

また、大阪府教育委員会と共催の大阪府学校給食大会の開催については、4年ぶりに通常どおり表彰と講演会を実施した。

(1) 学校給食用物資の供給事業

1) 学校給食用物資供給校及び対象人員(令和5年度牛乳及びパンの需要量申請等より)

区 分	年度	学校数	対象人員
小 学 校	5	970 校	443, 212 人
	4	972 校	448, 700 人
中 学 校	5	441 校	157, 325 人
	4	424 校	151, 252 人
特別支援学校	5	41 校	13, 908 人
	4	41 校	13, 903 人
夜間定時制高等学校	5	1 校	47 人
	4	1 校	35 人
合 計	5	1, 453 校	614, 492 人
	4	1, 438 校	613, 890 人

2) 学校給食用物資の供給状況

区 分		令和5年度	令和4年度
パ ン (特別加工パン 内数)		37,478,097 食 (33,511,592 食)	38,306,115 食 (34,144,629 食)
米 飯		43,107,368 食	42,445,351 食
精 米		4,284,272 kg	4,177,428 kg
牛 乳		73,585,602 本	73,445,363 本
米飯用加工食品(麦・α化米)		68,169kg	63,461 kg
一般物資	副食(惣菜・加工食品)	305,532,579 円	291,024,271 円
	調味料類	245,605,514 円	237,221,004 円
	デザート類等	66,895,421 円	62,444,517 円
	一般物資合計	618,033,514 円	590,689,792 円

3) 安全衛生及び品質管理に関する事業

① 学校給食用物資の検査

食品の安全確保、良質な物資の供給を図るため、公的検査機関等に委託して各種検査を実施した。検査結果は全検体基準値内、規格内であった。

区 分	検査方法	検体数	検 査 内 容
一般物資	理化学	28	重金属・ヒ素・スズ・ヒスタミン
		61	一般生菌数・大腸菌群・O157・リステリア他
	微生物	47	発育微生物(レトルト・缶詰)
小 麦 粉	理化学	3	残留農薬等(13項目)及びカビ毒
		3	製パン適性度
		35	水分・蛋白・灰分他
米	理化学	7	残留農薬 (共通項目(573)+個別項目(各銘柄の防除暦に基づく使用実績のある農薬))
		195	品位(精米水分・品質・異物・白度) カドミウム・ヒ素・鉛・たんぱく・アミロース
		14	DNA 検査による品種鑑定
地場産米	理化学	3	残留農薬 (共通項目(300)+個別項目(各銘柄の防除暦に基づく使用実績のある農薬))
米 飯	理化学・微生物	16	水分・大腸菌群・黄色ブドウ球菌・セレウス菌
牛 乳	理化学	9	比重・酸度・乳脂肪分・無脂乳固形分
	微生物	9	一般生菌数・大腸菌群
合 計		430	

※委託検査機関 (一財)日本食品分析センター (公財)山口県予防保健協会
(一財)日本穀物検定協会 (株)BML フード・サイエンス
(株)日本食品エコロジー研究所 (株)東邦微生物病研究所 他

② 製造工場の指定と巡回調査・指導

施設設備に関する一定水準以上の選定基準等を定めて学校給食パン及び炊飯指定工場等に指定するとともに、衛生管理の徹底を図るため、各工場に立入り巡回調査指導を実施した。

製造工場	選定基準等	工場数	調査・指導延回数
パン指定工場	パン指定工場選定基準	17社	24回
炊飯指定工場	炊飯指定工場選定基準	16社	17回
精米業者	精米業者選定基準	4社	8回
製粉工場	農林水産省指定工場	2社	2回
牛乳供給事業者	事業者認定基準(大阪府制定)	9社	9回

③ 指定工場従業員教育

各指定工場(関係従業員や新しく工場で働かれる従事者)を対象に一般的な衛生管理や衛生に関する基本についての資料を配布した。

④ 衛生管理講習会

パン・炊飯指定工場を対象に事務連絡会及び安全衛生講習会を開催し、令和4年度の安全衛生に関する総括や令和5年度実施の巡回調査についてのリスク管理研修について講習会を実施した。

開催日	会場	参加人数
令和5年 4月6日	大阪赤十字会館 4F 会議室	31名
令和5年12月8日	大阪府学校給食会会議室	40名

4) 品質の確保、向上に関する事業

① 物資運営委員会の開催

市町村・学校の代表者で組織する学校給食用物資運営委員会を開催し、学校給食用物資の選定、価格及び品質・規格について審議し、取扱物資の学校給食への適切な供給に努めた。

ア 学校給食用物資運営委員会

	開催日	主な内容
第1回	令和 5年 7月 6日	年間行事予定について 第2学期分の取扱物資について 研修「2024年物流問題について」「地場産取り扱い状況について」
第2回	令和 5年11月16日	開発選定小委員会報告 物資の休売・終売・価格動向説明 第3学期分の取扱物資について 昆布のだしの取り方と捨てがらの利用について

第3回	令和 6年 2月21日	開発選定小委員会報告 令和6年度第1学期分の取扱物資について 令和6年度大阪府学校給食用牛乳供給価格にか かる説明について パン工場の現状について ヤクルト福岡工場オンライン工場見学
-----	-------------	--

イ 品質小委員会

開催日	主な内容
未実施	審査実施事業の献立講習会が中止のため

ウ 開発選定小委員会

開催日	主な内容
令和 5年 9月13日	令和5年度の取り組みについて 選定商品の検討及び審議について 選定商品の展示試食も実施した
令和 6年 2月 5日	選定商品の検討及び審議について 選定商品の展示試食も実施した (以降選定商品がある場合必須)

② パン品質審査会

開催日	主な内容
令和 5年11月17日	全パン工場のパンの品質審査(市町村抜き取り)

※市町村・府教委に審査員として参加いただき、総勢23名で審査を実施。

5) 展示会等の実施

市町村等への学校給食用物資の選択の場として各種展示会を開催するとともに、学校給食用物資についての基礎的な知識の普及を図るため、物資展示会等を実施した。

事業名	実施日	場所	内容	参加者
学校給食展示・試食会	令和5年 7月26日	アウイーナ 大阪	学校給食用物資の展 示・試食。	262名
新米試食会	令和5年 10月17日	大阪赤十字 会館会議室	新米試食と選定	42名
学校給食用一般 物資展示・試食会	令和5年 12月25日	アウイーナ 大阪	学校給食用物資の展 示・試食。	250名

6) 新規取扱物資製造工場調査

A. 静岡出張視察

新規取り扱い物資の工場視察の実施と衛生管理状況の立入調査を実施した。

実施日	令和6年3月7～8日
調査場所工場	静岡県 ・(株)カネセイ(静岡県藤枝市) ・三共食品(株)(静岡県焼津市) ・(株)発芽玄米(静岡県磐田市)
製造物資	・うずら卵水煮 ・ライトツナフレーク水煮・なたね油漬け ・玄米ふりかけ ・発芽玄米味自慢 ・発芽玄米フレークとクラッシュタイプ

* 静岡県学校給食会で情報交換を実施した。

B. (株)J オイルミルズ工場視察

ミニローリー車での供給を予定しているため、製造・給油状況、衛生管理状況の立入調査を実施した。

実施日	令和6年3月22日
調査場所工場	兵庫県神戸市 ・(株)J オイルミルズ
製造物資	・菜種白絞油 一斗缶・ドラム缶・ミニローリー * PET・紙パックは静岡工場で製造

(2) 学校給食の普及充実及び食育推進事業

1) セミナー・講演・講習事業

① 食育推進支援セミナー(Web 研修)

当給食会のホームページの食育推進支援セミナー受講者専用ページにてオンデマンド配信で開催した。

配信日・第1回目: 令和5年 6月30日～令和5年 9月 8日 (ア)・(ウ)

・第2回目: 令和5年10月13日～令和6年 1月12日 (イ)・(エ)

* A) 全4講座 B) 全3講座 を上記期間に配信

A) 「児童・生徒の食に関する課題の対処方法について」

コンセプト: 学校生活における児童・生徒のさまざまな課題について、作業療法士の視点による評価や指導方法の研修

講師 藍野大学 助教 高畑 脩平 氏

(ア) 自閉スペクトラム症/注意欠陥・多動症の理解

(イ) 発達性協調運動症/脳性麻痺の理解

講師 中部大学 講師 塩津 裕康 氏

(ウ) 感覚過敏・鈍麻の理解に基づく食事場面での支援

(エ) 摂食嚥下の発達の視点

受講内訳 学校数 62校 受講者数 145名

B) 「学校現場でいかす臨床心理学2023」

コンセプト：臨床心理士による臨床心理学的視点からの児童・生徒の個別指導と
保護者対応における研修

講師 京都大学 教育学研究科附属 臨床教育実践研究センター 准教授

畑中 千紘 氏

(ア) 子どもの食と発達課題

(イ) 子どもの”No”の重要性

(ウ) 子どもの食と物語

受講内訳 学校数 65校 受講生数 137名

② 食育推進支援セミナー(授業作り)

「子どもの瞳が輝く授業作りをめざしたセミナー」

講師 大阪公立大学非常勤講師 日下 豊子 氏

授業の構成から発問計画・板書計画・ワークシート作成など授業作りの基礎基本を学び、教科と関連した食に関する指導において、各自が教材研究・授業作りに取り組み、所属各校で実態に合わせて授業実践された。

また、堺市(中学校)、大東市(小学校)の2校で公開授業を実施された。

実施期間 令和5年6月～令和6年3月

講習回数 6回

受講者数 12名

③ ICTを活用した食育推進支援セミナー(Web研修)

第4次食育推進基本計画の重点事項にある「新たな日常」やデジタル化に対応した効果的な情報発信を行い食育の推進に取り組むため、育推進支援セミナー受講者専用ページにてオンデマンド配信で開催した。

日時：令和5年11月1日(水)～令和6年2月29日(木)

講師：いただきます.info事務局 三信化工株式会社

海老原 誠治 氏

受講内訳 学校数 147校 受講生数 158名

④ 食育講演会

栄養教諭等の食に関する知識の充実のため、「食」に関連した内容をテーマとした講習会を実施した。

日時：令和5年12月25日(月) 15:10～16:40

演題：『コロナ禍以降 子どもの心の状態と対応について』

～子どもの心に寄り添う～

講師：子育て支援アドバイザー

上原 優子 氏

参加者数 259名

⑤ 大阪府学校給食大会(77回)

大阪府教育委員会との共催で、大阪府内の学校給食関係者を対象にした「食の重要性」をテーマとした講演会及び、学校給食功労者等の表彰式。

日 時 : 令和5年7月24日(月)13:00~16:20 (表彰式・講演)

場 所 : 大阪市中心公会堂

表彰式 : 被表彰者(学校) 21名 7校

講 演 : 演題 『～口の中は不思議がいっぱい～』

「子どもの口は履歴書」

講師 国立モンゴル医学・科学大学 客員教授

元 岡山大学病院 小児歯科講師

岡崎 好秀 氏

⑥ 大阪府学校給食用パン実技講習会

大阪学校給食パン・米飯協同組合と共催で、学校給食関係者を対象にパンに関する知識向上を目的に講習会を実施し、パンの基礎知識や製法についての講義と学校給食用小麦を使用したパンの製パン実習、パンの品質判定方法について2日間にわたり講習を行った。今年度は令和元年以来、約4年ぶりの開催となった。

日 時 : 令和5年8月2日(水)・3日(木) 10:00~16:30

会 場 : 大阪パン会館

講 師 : 藤井 憲一 氏

受講者数 : 18名

⑦ 大阪府学校給食献立講習会

令和5年度は、会場(大阪ガスハグミュージアム【業務用フロア】)の改装工事のため中止した。

⑧ 食育推進講演会

「令和5年度新規採用栄養教諭対象の研修会」

子どもの瞳が輝く食に関する指導(授業作り)に」についての研修会

日 時 : 令和6年3月27日(火)

会 場 : 大阪府学校給食会会議室

講 師 : 日下 豊子 氏 (大阪公立大学 非常勤講師)

胡 精吾 氏 (大阪府教育庁 教育振興室保健体育課 指導主事)

対 象 : 大阪府内の令和5年度新規採用の栄養教諭 (21名)

参加数 13名

令和5年度新規採用栄養教諭が、食に関する指導やその他の職務内容を実践するにあたり悩みや疑問等を共有し、栄養教諭から助言や相談ができるような場を設定することで、食育指導の充実を図ることを目的として実施した。

2) コンテスト事業

① 小学生部門 おおさか学校給食献立コンテスト

小学校及び特別支援学校の小学部の5年生・6年生を対象に学校給食の献立を募集し、コンテストを実施した。

テーマ：こんな給食たべたいなあ！

「大阪産(もん)や地場産物を活用した献立を考えよう！」

応募献立数 1,921作品(応募人数 2,333名、応募校数 67校)

② 中学生部門 フォトコンテスト

中学校及び特別支援学校の中学部を対象に朝食の写真を募集し、コンテストを実施した。

テーマ：こんな朝食たべたいなあ！

「我家(うち)のホリデイモーニング」

応募献立数 3,821作品(応募人数 3,821名、応募校数 41校)

3) 展示会事業

「学校給食展示・試食会」での出展

大阪学校給食パン・米飯協同組合との共催で学校給食用物資各種の展示試食を行う会場で、食育・安全に関する貸出指導教材・献立コンテスト入賞作品の展示。

4) 体験活動事業

出前パン作り教室

大阪学校給食パン・米飯協同組合と共催で、大阪府内の児童・生徒を対象に、学校給食パンの製造から試食に至るまでの出前教室を実施することにより、食に対する関心と意識を高め、製造等にかかわる人々の努力や食への感謝の念を育む心を養うための講習会。

日 時：令和5年11月～令和6年3月

実施回数：10箇所

講 師：藤井 憲一 氏・辻本 博正 氏

参加人数：311名

5) その他の学校給食普及充実及び食育推進事業

① 食育推進助成事業

大阪府内の食育を支援するための食育活動費の助成。

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② 食育教材等貸出事業

市町村教育委員会・学校及び栄養教諭等学校給食関係者に対し、「食育」や「学校給食の普及充実」に関係する書籍・DVD・紙芝居・フードモデルなどの各種教材。また「衛生管理」に役立つ教材や簡易検査器具、並びに「栄養価計算や献立作成等」を行える学校給食管理システムを無償で貸与した。

貸出件数 98件

③ 「バケツ稲づくり」もみ種の配布

児童・生徒の米作り体験を支援することを目的に、令和3年度産学校給食専用銘柄米のもみ種を申込があった学校へ配布した。

青森県産「つがるロマン・まっしぐら」・滋賀県産「キヌヒカリ」・鳥取県産「きぬむすめ」・香川県産「ヒノヒカリ」の以上の5銘柄の中から希望銘柄を各学校にて栽培した報告書が提出された。

配布数 121校 7,422名

6) 広報・普及啓発事業

① 季刊誌「おおさかの学校給食だより」の発行

市町村教育委員会・学校に対し、季刊誌を年4回配布した。

発行部数 8,800部

② 「ホームページ」の運営

ホームページの一般向けページでは、「食育」や「学校給食に関する情報」を紹介するとともに、学校給食関係者の専用ページでは当給食会が取り扱う学校給食用物資の紹介並びに安全衛生や品質面での分析検査結果などを掲載した。

また、献立講習会において実施した調理風景を撮影し編集したものを動画共有サイト「YouTube」の大阪府学校給食会公式チャンネルにおいて配信を行い、食育情報を発信した。また、令和6年度のホームページリニューアルに向け、各担当でデータの整理・見直しを行い、新ホームページの構成・デザインを考え、リニューアル作業を行った。

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。